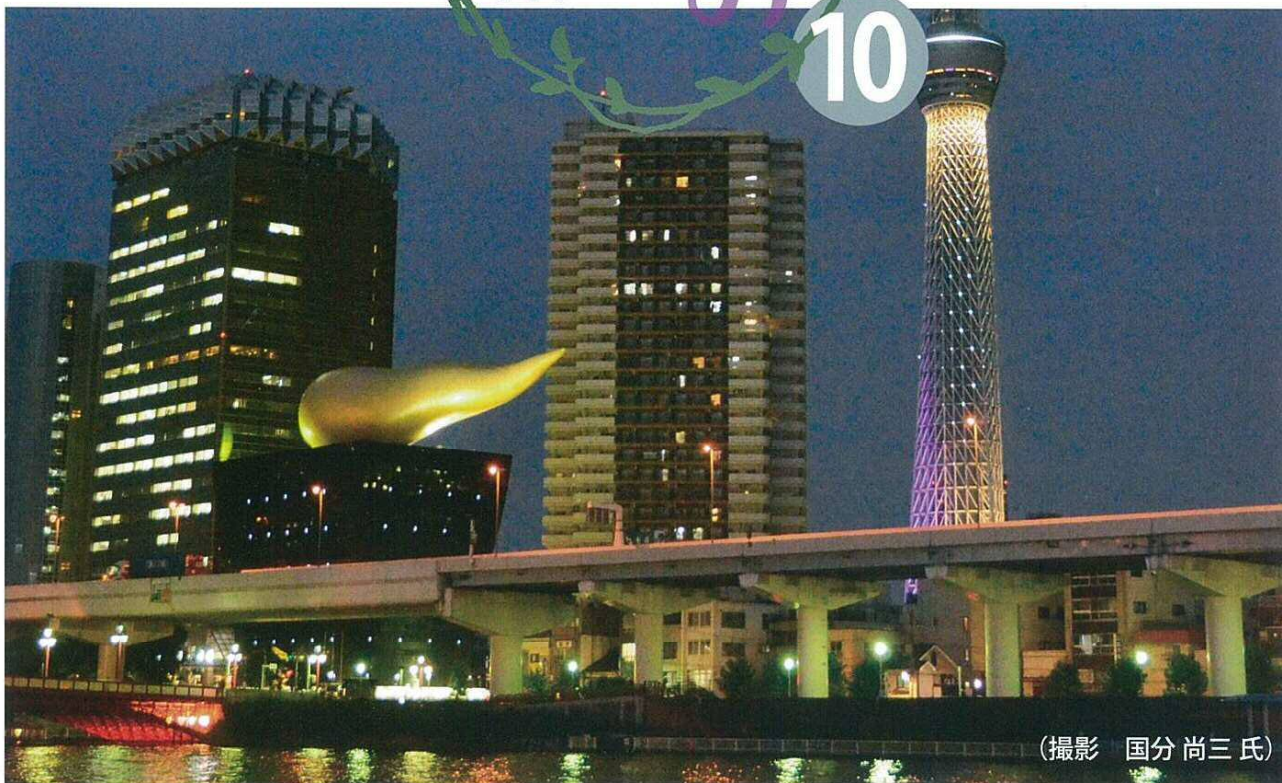


南無阿弥陀仏は
私のいのち



〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
http://saitokuji.tobihiro.jp/
発行人 岸本 秀一
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



(撮影 国分 尚三氏)

拒絶反応

話題のIPS細胞(人工多能性幹細胞)。自らの体細胞から様々な組織や臓器が作成できるというもので、先日ついに実用化の第一歩として網膜細胞の移植がなされた。常に移植は拒絶反応との戦いであつたからこそ、この医学進歩は世界的注目を集めている。

意思とは関係なく、自分以外のものを異物として排除するその性質が身体を保ってきたのであるが、これは身体だけの話ではない。自分と異なる意見や反対勢力、また異色なものに対して、まずもって拒絶反応を起こすのが私達ではないだろうか。身体同様に排除するかたちで自らを維持しようとする。

親鸞聖人は越後へ流罪となつた。比叡山で幼き頃から仏道に励み、吉水の法然上人のもとでひたすらに念仏されてきた親鸞にとつて、越後の大きく異なる風土やその地に息づく人々との出会いはいかなるものであつたか。全ての人々を救済するはずのお念仏にも、耳すら傾けない人々。法然上人を通して頂いた念仏はなんであつたのか。親鸞の中に生まれた拒絶反応は、越後の人々の親鸞に対する拒絶反応でもあつた。

しかし、越後の異なる風土や人々の存在が、了解していただはずの事柄を打ち砕き、むしろ念仏の奥深さを明らかにしていった。実はそれこそが念仏の歩みそのものではないだろうか。

(山崎 哲記)



報恩講のご案内

親鸞聖人は関東におられる門弟にしばしば、聖覚師の『唯信鈔』を書き送り、またその語句説明も送り、「よくよく御覧そうろう」と記している。その『唯』について「『唯』は、ただこのことひとつという。ふたつならぶことをきらうことばなり」と注意されている。

私の日常は、いつも「身の事実」と「私の思い」がぶつかり合っている。「日帰りで行ってみたいな 天国に」「延命は 不要と書いて 医者通い」「居れば邪魔 出かけりや事故かと 気をもませ」である。私はどこに立っているのか、事実は「年重ね くしゃみするのも 命がけ」、それなのに「まだ生きる つもりで並ぶ 宝くじ」「ダンナには 内緒で食べた 牡蠣アタル」であって、「思い」には立てない。その私が、支えられ生かされている。そのことに気付くことを「信」と教えられる。

報恩講は親鸞聖人に至り届いた念仏、その念仏に出会う機会であります。

記

11月1日(土)

午前 10 時

初日中法要「舌々正信偈・一首引」

法話

午前 11 時 30 分

混声合唱団「エコー」演奏会

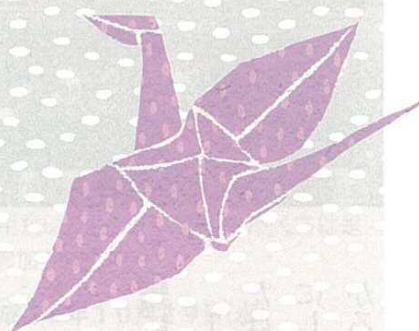
正午 12 時

お斎

午後 1 時 30 分

大速夜法要「行譜正信偈・三首引」

法話



11月2日(日)

午前 10 時

満日中法要「舌々正信偈・一首引」

法話

正午 12 時

お斎

午後 1 時 30 分

御満座法要「文類正信偈・七首引」

法話

布教使

新潟県三条市・徳誓寺住職
真宗仏光寺派 布教使

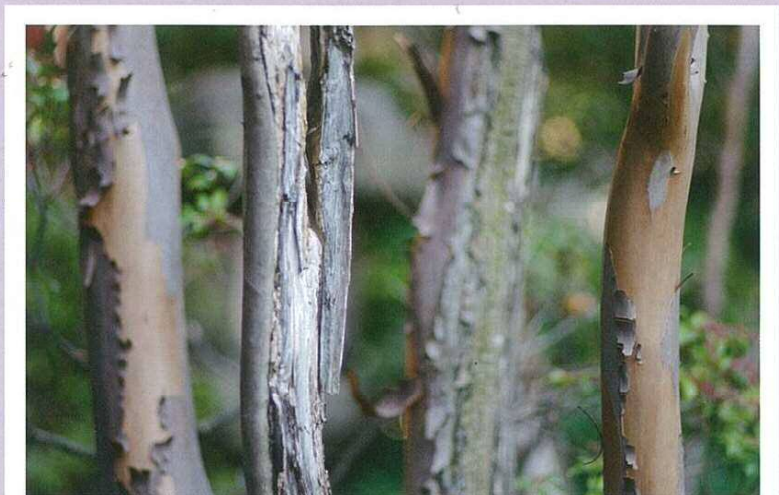
福井 憲雄 師

※両日ともお斎をご用意します。準備の都合上、**10月24日(金)までに**、同封したハガキでお申し込みください。

光明名号の因縁によって、すべての凡夫を救う阿弥陀仏の本願のたらしきは、海に譬えて「大智海」といわれます。海は、われらのように「お互いに、わるいところはあなたの子」というような分け隔を一切せず、すべてを受け入れて一つ味にします。「成績が、上がったとたん、俺の子だ」と、そのときの都合でころころ変わるわれらは、阿弥陀仏の差別をしない智慧と、すべてを受け入れる慈悲の心に、ただ頭が下がって南無阿弥陀仏と応答するほかありません。それで「本願の大智海に開入（かいらい）開（ひら）かれて、入れしめられる（すれば、行者（ぎやうじや）念（ねん）仏（ぶつ）する者（もの））正（ただ）しく、金剛心（こんごうしん）を受けしむ。」といわれるのです。

「金剛心」は、親鸞聖人が「信心やぶれず、かたぶかず、みだれぬ」と、金剛のごとくなるがゆえに、金剛の信心とはもうすなり。（『唯信鈔（ただしんしやう）文意（ぶんい）』）といわれるように、南無阿弥陀仏が響いた信心の譬（たと）えです。だから、ダイヤモンド・マインドは、周りの人を困らせるような殻（か）に閉じこもった心ではありません。本願の大智海（だいちかい）が流入（りゅうりゅう）して、頑固（がんこ）な心が丸裸（まるはだ）にされた心ですから、なにがおきても、あるがままに柔軟（りゅうなん）に

応（おう）じていける心（信心）です。金剛心は、われらの修行の積み重ねでは決して得られない心ですから、金剛心をすでに頂くことは、「慶喜（ぎやうき）の一念（いちねん）」望外（ぼうがい）の喜びとなります。



正信偈の話 (38) 松井憲一

開入本願大智海 行者正受金剛心 慶喜一念相應後 与韋提等獲三忍 即証法性之常樂
（本願の大智海に開入すれば、行者正しく、金剛心を受けしむ。慶喜の一念相應して後、韋提と等しく三忍を獲、即ち法性の常樂を証せしむといえり。）

「獲（う）る」といわれます。三忍は、『観無量寿経』のお釈迦さまの説法が終わるところで、韋提希夫人とそこにおられた五百人の侍女が、「廓（かく）然（ぜん）として大悟（だいご）し、無生忍（むしやうにん）（無生法忍）を得（え）（『観無量寿経』）たと

いう、無生法忍（覚り）のことをいいます。忍は、ものをはつりさせる勝れた理解のことですが、善導大師は、この無生法忍の智慧の内容を、喜忍・悟忍・信忍と三つに分けて、現在に得られる覚りといたされ、喜忍は、法に遇えた喜びの心、悟忍は、智慧に遇って

この慶喜の一念は、一念一念に南無阿弥陀仏と阿弥陀仏に出会い続ける心（相應する心）ですから、金剛の信心を頂いた人は、韋提希夫人と同じように「三忍（覚り）を

けていたことを知らされた心、信忍は、自分の思いを信じて本願を疑っていたことを知らされ、凡夫である今の自分をまるごと頂けた心です。

ずつと夢を見続けていることを知らされた心、信忍は、自分の思いを信じて本願を疑っていたことを知らされ、凡夫である今の自分をまるごと頂けた心です。こうして、三忍を獲た者は、ただちに「法性の常樂を証せしむ」といわれます。法性と常樂は涅槃の徳をあらわす言葉です。法性は永遠の真理そのもので、常樂は苦樂を超えた真の樂をいいます。これについて、親鸞聖人は「煩惱具足と信知して、本願力に乗すれば、法性常樂証せしむ（『高僧和讃』善導讚）」と和讃されます。煩惱よりほかに持ちものない身と知らされ、その煩惱をきらわず救おうという本願力に乗せられている事実



山門の言葉

問いの世界には自由がある 答えの世界には自由がない

これは、一九八二(昭和五六)年に、真宗教団連合から出版された、法語リーダーの言葉である。

私たちは日々の生活の中で、いつも答えを迫られ生きているのではないだろうか。会社では素早く答えを出せる人材が重宝されており、何か悩み事があると、それを解決してくれる人や物が流行っている時代である。

逆を言えば、すぐに答えが出せず、解決できない人や物は、今の世の中ではほとんど必要とされず、見向きもされないのが現実であろう。

最近のニュース番組では、必ずといっていいほど評論家や専門家といわれる人たちが出演している。その人たちが、さまざまな事件や出来事を一刀両断していく様子は、見ていて関心させられる。物事にすぐさま答えを出していくということは、私たちが生活していく上で、非常に大事なことである。素早く解決していかないと、次から次へと襲いかかってくる問題に対処しきれなくなるからである。

しかし瞬時に反応し答えを出していかないと、解決することのみ必死になり、迫ってくる問題に始終振り回されるばかりである。解決することばかりに心を奪われ、その出来事が本来問にかけている問題を深く、時間をかけて問うことができない。

その結果、私たちは自分自身で自らの視野をどんどん狭くしていついていけるのではないだろうか。そのことを、ここでは自由がないという言葉で言い表しているのだと思う。

念仏の世界とは、答えを求めていくのではなく、どこまでも問いを深めていく世界であると教えられる。その歩みを『無量寿経』では、「法蔵菩薩の五劫思惟の願」という言葉で教えてくださっている。念仏の道とは、五劫という果てしなく永い時間をかけて、人間の根本問題に眼を向け、一体何が問題なのかを思惟していかれた、問いの道なのである。答えではなく、問いが私たちを動かしているのである。

(蓮井 邦宗 記)

日誌

8月19日	「出かけていく聞法会30周年記念大会」 実行委員会役員会	9月6日	定例聞法会、評議員会定例役員会 混声合唱団「エコー」練習 「出かけていく聞法会30周年記念大会」慰労会
8月27日・28日	宗祖忌	9月7日・8日	中興忌
8月30日	混声合唱団「エコー」練習	9月8日~12日	本山・第十次聞法推進員養成研修会 (山崎・大橋参加)
8月31日	仏教青年会主催バーベキュー大会 (参加者164名)	9月11日	東京教区研修会(新横浜グレイスホテル)
		9月13日	同行会「現代の聖典」に聞く 法話 木村主任
		9月17日	婦人会聞法会「釈尊伝」に聞く

前略 ご無沙汰申し上げます。今夏は気候変動が例年に較べて多くあり、広島土砂くずれ等、まだ行方不明の方が一人見つからなくて、亡くなられた方も73名になり、昨日テレビを見ておりましたら墓地も土砂に流されて、残された家族の方が御遺骨を探しているのを何とも言えず、横になっている墓石に釈〇〇となっておりますので、私共と同じ宗旨のお寺とお察しました。自然災害と申しても、お気の毒なことです。

先日の大雨の時も、東京は洪水になり、台東区も入っていましたが、西徳寺様の処は如何だったですか。

16日にまた地震があり、かなり長い時間揺れて、昼食時でしたので一寸びっくりして、いよいよかと覚悟してしまいました。ホームに入居しているおかげで、すぐスタッフの方が各部屋に心配して廻って来てくれたので、いざという時にも安心です。

お彼岸に伺う予定をしておりましたが、東京はデング熱の蚊が発生して、今のところ発生は新宿ですが、染井霊園もいつも蚊が多く、防虫スプレーは持って行かず蚊取り線香持参で行ってきました。今回は少しずらしてお墓参りをする事に妹と決めました。

最近都心に出るのが少ししんどく感じられて、何となくざわめき人ごみに疲れを感じ、皆せかせかしている様で、ほんわかした、やわらかな感じがなくて、やはり自分が年齢的に老化したのかなと思ってしまいます。

今朝のテレビで、広島災害で最後の行方不明者のご遺体が見つかり、計74名が亡くなったことを知りました。昔は「災害は忘れた頃にやってくる」と教えられましたが、近頃は忘れないうちに天災が来るので、日頃から自分自身で気をつけています。

ips細胞の初手術が行われて、女性の方が退院されたと新聞に出ていました。私も同じ目の病で先生から無理をしない様に注意されていて、日本に69万人もいるといわれるので、私だけではないし、まだまだ良い方だと思っているのですが、あまりネガティブに考えない事にしています。

お伺いなくて申しわけございません。御布施を心ばかりでございしますが同封致します。まだまだ陽気が不順です。呉々もみな様ご自愛ください。

(平塚市 村越 和子 様)

読者の声

前略 いつもお世話になりありがとうございます。御座居ます。9月17日は100才迄生き母の命日のため、お寺へ伺う予定でしたが、兄は歩けなく、弟は急に腸閉塞で緊急入院となりました。まことに申し訳ありませんが、お墓にお花と線香と、お経を是非お願いして頂きたく、よろしくお願ひします。寸志を同封しましたので、よろしくお願ひします。
(上越市 横山 淑子 様)

えこお志お礼

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

新潟県 瑞林寺 様

横須賀市 玉木 昭子 様

世田谷区 細坂 幸一 様

掲示板

平成26年10月

- 1日(水) 午後4時 **総代会**
4日(土) 午後3時半 **混声合唱団エコー練習**
11日(土) 午後3時半 **混声合唱団「エコー」練習**
午後6時 **同行会「現代の聖典」に聞く**
法話 大橋 伊知郎
12日(日) 午後2時 **中央ブロック会総会・間法会**
(西徳寺)
15日(水) 午後1時 **婦人会間法会「釈尊伝」に聞く**
16日(木) 午後1時半 **『唯信鈔』に聞く(第8回)**
講師 宗正元師
18日(土) 午後1時半 **定例間法会**
午後3時 **台東区合唱祭(混声合唱団「エコー」出演)**
19日(日) 午後2時 **城東ブロック会間法会**
(小岩区民館)
25日(土) 午後3時半 **混声合唱団「エコー」練習**
午後6時 **同行会「現代の聖典」に聞く**
法話 高橋 淳
26日(日) 午後2時 **城南ブロック会間法会**
(世田谷区太子堂 レンタルスペースSF)
28日(火) 午後7時 **仏教青年会座談会**
29日(水) 午前10時 **仏具磨き(雨天順延)**

合唱団「エコー」が本堂で歌います!

平成26年11月1日(土) 11時半~12時

指揮 横山慎吾 ピアノ 金澤麻里子
真宗宗歌・ローレイ・ふるさと など

毎年恒例、報恩講での演奏会の時期となりました。「エコー」は本堂で練習を積み重ねておりますが、そのご恩を歌で表現できるように努めます。皆さんもご存じの曲も歌いますので、ぜひお越しください。

編集後記

神無月の語源は、神を祭る月であることから「神の月」とする説が有力であるといわれています。中世の俗説には、10月に全国の神々が出雲大社に集まり、諸国に神がいなくなることから「神無月」となったといわれ、出雲国(現在の島根県)では反対に「神有月・神在月(かみありづき)」と呼ばれています。

10月から新酒を醸成することから「醸成月(かもなしつき)」ともいわれますが、冬に仕込んだ日本酒が熟成されるこの季節、心待ちにしておられる方が多いことでしょう。(主任 木村 記)

西徳寺ホームページアドレス:

HP <http://saitokuji.tobihiro.jp/>

ゆうちょ銀行お振り込み口座 00120-0-80670 名義 西徳寺

※「えこお」に対してのご意見・ご感想をお寄せ下さい。(メールでも結構です)

✉ saitokuji@ce.wakwak.com

仏教青年会主催バーベキュー大会

去る8月31日に仏教青年会主催のバーベキュー大会を行いました。夏休み最後の日でしたが、164人の方々にお越し頂きました。

いつもの通りスイカ、とうもろこし、マグロ、キャベツ、キノコ類、そしてお酒など、沢山のご寄付をいただき、参加者の皆様に召し上がっていただきました。

今回、皆様からいただいた会費や寄付金は合計で30万6千円となり、今年も福島県自治体に義援金として送金いたしました。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。来年も行う予定ですので、ぜひ皆さんでお越しください。

仏具磨きのお誘い

11月1日(土)・2日(日)の両日、西徳寺の報恩講をお勤めいたします。今年も本堂内陣のお荘厳や会館の仏具磨き、境内等の清掃をお手伝いいただきたいと思います。お忙しいこととは存じますが、宜しく願い申し上げます。

法要当日は皆さんと協力して磨いた綺麗なお荘厳で、親鸞聖人のご恩を偲び一緒にお勤めをいたしましょう。

当日の昼食は恒例になりました「カレーライス」をご用意いたします。ご都合の付く方は是非ともご参加ください。

期日・平成26年10月29日(水)

午前10時から

(雨天の場合、翌30日(木)に変更いたします)

場所・西徳寺境内

※参加いただける方は寺務所までご連絡ください

(TEL 03-3875-3351)

(主任 木村 記)